

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 1 月 5 日 (2017.1.5)

【公表番号】特表 2014-502967 (P2014-502967A)

【公表日】平成 26 年 2 月 6 日 (2014.2.6)

【年通号数】公開・登録公報 2014-007

【出願番号】特願 2013-546430 (P2013-546430)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/55 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/55

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 28 年 10 月 7 日 (2016.10.7)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

I L - 2 R に対する平衡解離定数が、野生型のヒト I L - 2 (h I L - 2) のものより小さい、I L - 2 R 結合タンパク質であって、

野生型の h I L - 2 に従い番号付けされた L 8 0 F、R 8 1 D、L 8 5 V、I 8 6 V および I 9 2 F のアミノ酸置換を含む I L - 2 ムテインである、結合タンパク質。

【請求項 2】

前記ムテインが、I 2 4 V、F 4 2 A、K 4 3 N、P 6 5 H、Q 7 4 R、Q 7 4 H、Q 7 4 N、Q 7 4 S、I 8 9 V および V 9 3 I からなる群から選択される 1 または複数のアミノ酸置換をさらに含む、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 3】

前記ムテインが Q 7 4 R のアミノ酸置換を含む、請求項 2 に記載の結合タンパク質。

【請求項 4】

前記ムテインが、Q 7 4 N、L 8 0 F、R 8 1 D、L 8 5 V、I 8 6 V、I 8 9 V および I 9 2 F のアミノ酸置換を有する、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 5】

前記ムテインが、L 8 0 F、R 8 1 D、L 8 5 V、I 8 6 V、I 8 9 V、I 9 2 F、および V 9 3 I のアミノ酸置換を有する、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 6】

前記ムテインが、Q 7 4 H、L 8 0 F、R 8 1 D、L 8 5 V、I 8 6 V および I 9 2 F のアミノ酸置換を有する、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 7】

前記ムテインが、I L - 2 R と I L - 2 R との間の相互作用を阻害する、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の結合タンパク質。

【請求項 8】

前記ムテインが、Q 7 4 S、L 8 0 F、R 8 1 D、L 8 5 V、I 8 6 V および I 9 2 F のアミノ酸置換を有する、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 9】

前記ムテインが、L 1 8 R、Q 2 2 E、L 8 0 F、R 8 1 D、L 8 5 V、I 8 6 V、I 8 9 V、I 9 2 F、V 9 3 I、およびQ 1 2 6 Tのアミノ酸置換を有する、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 1 0】

I L - 2 R に対する平衡解離定数が、野生型のヒト I L - 2 (h I L - 2) のものより小さい、I L - 2 R 結合タンパク質であって、野生型の h I L - 2 に従い番号付けされた L 1 8 R、Q 2 2 E、Q 7 4 S、L 8 0 F、R 8 1 T、L 8 5 V、I 8 6 V、I 8 9 V、I 9 2 F、V 9 3 IおよびQ 1 2 6 Tのアミノ酸置換を含む I L - 2 ムテインである、結合タンパク質。

【請求項 1 1】

前記ムテインが、Q 7 4 N、L 8 0 F、R 8 1 D、L 8 5 V、I 8 6 VおよびI 9 2 Fのアミノ酸置換を有する、請求項 1 に記載の結合タンパク質。

【請求項 1 2】

前記 I L - 2 ムテインがヒト I L - 2 ムテインである、請求項 1 または 1 0 に記載の結合タンパク質。

【請求項 1 3】

ヒト I L - 2 を突然変異させ、これにより、第 1 世代の I L - 2 ムテインを生成させる工程と、野生型のヒト I L - 2 のものより小さい、インターロイキン 2 受容体 に対する平衡解離定数を有する第 1 世代の I L - 2 ムテインを同定する工程と、同定された第 1 世代の I L - 2 ムテインを突然変異させ、これにより、第 2 世代の I L - 2 ムテインを生成させる工程と、野生型の h I L - 2 に従い番号付けされた L 8 0 F、R 8 1 D、L 8 5 V、I 8 6 VおよびI 9 2 Fのアミノ酸置換を含む第 2 世代の I L - 2 ムテインを同定し、さらに野生型の I L - 2 と比較してより低い程度で、インターロイキン 2 受容体 に結合し、かつ / またはインターロイキン 2 受容体 を介してシグナル伝達する第 2 世代の I L - 2 ムテインを同定し、これにより、I L - 2 アンタゴニストタンパク質を生成させる工程と、を含む、I L - 2 結合タンパク質の生成方法。

【請求項 1 4】

野生型 I L - 2 と比べて低減したインターロイキン 2 受容体__への結合を示す、請求項 1、2または1 0に記載の結合タンパク質。

【請求項 1 5】

野生型 I L - 2 と比べて低減したインターロイキン 2 受容体 への結合および / またはインターロイキン 2 受容体 を介するシグナル伝達を示す、請求項 1、1 0または1 4に記載の結合タンパク質。